

平成 27 年度国際協力研修 JICA 課題別研修「上水道施設技術総合（A）」研修

1. 本研修の概要

多くの開発途上国における水と衛生の役割は一層重要性を増している。本研修では、これまでの日本の上水道施設技術に関する知見を生かし、上水道施設の運営や技術に関する総合的な能力の向上を図る研修を実施している。本研修は、日本水道協会が受託し、平成 27 年 6 月 14 日～8 月 20 日に、国内の関連機関、水道事業者等と連携して研修を実施している。

2. 対象国

カンボジア・エチオピア・マラウイ（2 名）・ミャンマー・ルワンダ・サモア・ソマリア・スーダン（2 名）からの中央政府水道計画責任者や水道関係者 10 名及び国内水道事業者から 5 名が参加した。

3. 実施方法

当院では、長年研修の実施に協力しており、本年は、平成 27 年 7 月 24 日に「調査研究システム」に関する講義、実験施設見学、「ジャーテスト」の実習、7 月 31 日に「水安全計画」に関する講義及び実習を実施した。

24 日午前は科学院の概要、水と公衆衛生の関連性、歴史について講義を行い、浄水処理実験プラント、実験室等の見学を行った。（浅見、下ヶ橋、島崎が担当）。24 日午後は、実習室で凝集（ジャーテスト）実習を行った（大野、島崎、小坂、安達、笠倉らが担当）。条件による沈殿性の違いなどについて考察も行われた。

31 日は当院からの 3 名（浅見、大野、小坂）が、水安全計画全体、事例紹介、評価方法について講義を行い、その後 3 グループに分かれ実習及び発表を行った。

研修員の方々も主体的に取り組んだため、講義及び実習により水道システムに関する理解が深まり、意見交換も活発に行われ、非常に有意義な研修となった。



浄水プラント・給水装置試験室見学



ジャーテスト



ジャーテスト



ジャーテスト



ジャーテスト実習 全体写真



「水安全計画」実習風景



「水安全計画」発表風景

【於：本院 別館棟及び日本水道協会会議室】